

三重の土地改良アラカルト

特色のあるため池の紹介

楠根ため



楠根ため



池干し

名称	楠根ため(くすねため)
所在地	三重県三重郡菰野町
貯水量	5千m ³
受益面積	4ha
堤高	3.5 m
堤頂長	62 m

楠根ためは、明治期に築造されたため池であり、平成21年度に農林水産省のため池百選に選定されました。周辺一帯は「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」として、国の天然記念物にも指定されています。

シデコブシは、東海地方特有のモクレン科の樹木で、日当たりの良い湿地性の丘陵地などに特異的に分布し、500万年前からの原初的形態で伊勢湾周辺のごく一部の地域にのみ生育しており、「生きている古代の植物」として、地史的

な意義・価値を持つ貴重な植物です。早春の新葉の出る前に枝先に白色または薄紅色の美しい花をたくさんつけますが、この池では特に赤色の花が咲き、他に類を見ないものとなっています。

また、ミカワバイケソウ等の東海地方特有の植物をはじめ、ミカズキグサやサワシロギク等が生育し、環境省レッドリストの準絶滅危惧カテゴリに記載されているアブラボテ等も生息しています。

楠根ためは湧水を集め群落全体に水を供給しているほか、生態系のバランスを保つ大きな役割を果たしています。地元住民によるため池の適正な維持管理で良好な環境が維持されてきました。

町では、楠根ためを「日本の自然環境保全の発信池」として位置付けており、「田光資源と環境を守る会」が先頭に立ち、地元住民による池干し等、自然環境保全活動も実施しています。

今後も地域が一丸となり維持管理、環境保全活動を継続し、貴重な地域資源を守っていきます。